

めいわ 議会だより



群馬県邑楽郡明和町議会
<http://www.town.meiwa.gunma.jp>

ホームページに議会会議録を掲載しています。



安全を祈り（館林地区消防組合出初式）

調査報告.....	③
常任委員会所管事務調査	
定例会.....	④
平成27年度一般会計補正予算・特別会計補正予算 条例制定・改正	

一般質問.....	⑥
やさしい町づくりのために町政を問う	
研修報告.....	⑩
議員全体研修 町村議会議員研修会	

新年のあいさつ

誇れる郷土づくり



議長
今成 隆

町民の皆様、あけましておめでとございます。

輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、常日頃より議会活動や運営などご支援ご協力を賜り、議員一同心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の我が国は、9月に大きな自然災害が栃木県・茨城県で発生し、関東・東北豪雨と名付けられました。この災害は、線状降水帯が発生し、24時間の降水量が300ミリ以上の豪雨となり大雨特別警報が発令され、鬼怒川が決壊や越水して甚大な被害をもたらしたことは、記憶に新しいところです。1日も早い復興を願うところです。

我が明和町においても大きな川に挟まれた地形であり、他人ごととは思えません。これからの防災対策に万全を期するよう、町当局に働きかけを行っています。

一方町では、主要事業でありました川俣駅舎が完成し、先日オープンいたしました。また、待望のスーパーマーケットもオープンの運びとなり、新年早々活気に溢れています。

その他、国道122号バイパス工事や大輪西工業団地造成工事など、町が大きく変貌を遂げる工事等が盛んに行われ、新しい明和町が誕生しようとしています。

そのような中、我々議会は、町民の皆様を代表する議会として、「開かれた議会」「政策の提案機能・監視機能の強化」を目指し、先人の努力を引き継ぎ更なる議会改革に取り組んでまいります。そして、新しい町づくりに向かって議会と町が協力して、将来子どもたちに誇れる郷土づくりに邁進していく所存でございます。

できる町議会として全力を尽くしますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、迎えた新年が町民の皆様にとりまして、輝かしい年になりますよう、併せてご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。年頭に当たりましてのご挨拶といたします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

- 副議長 川島 吉男
- 議員 堀口 正敏
- 議員 田口 晴美
- 議員 奥澤 貞雄
- 議員 岡安 敏雄
- 議員 関根 慎市
- 議員 坂上 祐次
- 議員 斎藤 一夫
- 議員 栗原 孝夫
- 議員 早川 元久
- 議員 野本 健治

※副議長除き議席順



常任委員会所管事務調査報告

二つの常任委員会は、各委員と事務局出席のもと、所管に関わる事務調査を実施しました。調査の内容は、各担当課長から平成27年度事業の進捗状況と平成28年度の事業概要について説明を受け、町内の施設及び事業の実施状況等現地調査を実施しました。

◆文教・厚生常任委員会

- ・現地調査箇所
- ・スズカケ公園【防犯カメラ】（総務課）
- ・明和東小学校【受水槽改修工事】（学校教育課）
- ・明和中学校【武道場吊り天井改修工事】（学校教育課）
- ・ふるさと産業文化館【舞台吊り物照明設備改修工事】（生涯学習課）
- ・配水管布設工事現場（環境水道課）

期日 11月27日（金）・12月11日（金）

◎田口 晴美 ○野本 健治 岡安 敏雄
坂上 祐次 栗原 孝夫 川島 吉男

※◎委員長 ○副委員長



中学校武道場



配水管布設工事(川俣地内)

◆総務・産業常任委員会

- ・現地調査箇所
- ・南大橋橋梁補修工事現場（経済建設課）
- ・道路改良工事現場（経済建設課）
- ・川俣駅周辺地域整備工事現場（都市計画課）
- ・消防団詰所建設工事現場（総務課）
- ・大輪公園【防犯カメラ】（総務課）

期日 11月26日（木）・12月11日（金）

◎堀口 正敏 ○早川 元久 奥澤 貞雄
関根 慎市 斎藤 一夫 今成 隆

※◎委員長 ○副委員長



川俣駅西口周辺



消防団(第3分団第2班)詰所

定例会

平成27年第4回明和町議会定例会は、12月7日に招集され、11日までの5日間の会期で開かれました。

この定例会には、町長から条例制定、改正及び補正予算など議案16件と、議員から2件の議案が提出され、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

また、群馬東部水道企業団議会議員の選挙が行われ、今成 隆議員が選ばれました。

一般質問は9人の議員が行い、活発な議論を展開して町当局の所信をいただきました。



子ども会 上毛かるた大会

12月定例会
12/7~11

条例・規則の一部改正

◆明和町議会会議規則

「標準」町村議会会議規則の一部改正により、議会における欠席の届け出の取り扱いに関し、出産の場合の欠席の届け出について新たに規定されたため、明和町議会会議規則の一部改正をしました。

◆明和町議会傍聴規則

「標準」町村議会傍聴規則の一部改正により、議会の傍聴席に持ち込むことを禁止している物に関し、つえが削除されたため、明和町議会傍聴規則の一部改正をしました。

◆明和町議会委員会条例

町の行政組織の変更（課の名称等）に伴い、常任委員会の所管する課の名称が変更となるため、明和町議会委員会条例の一部改正をしました。

補正予算

主な質疑

一般会計

地域ネットワーク施設

質問 施設基本計画策定業務委託料700万円の根拠は。

都市計画課長 官庁施設の設計業務等の積算基準に基づいて、東西2カ所（計1500㎡前後）の施設基本計画策定業務委託料を算出しました。

質問 建設場所は決まっているか。防災拠点としての機能は。

都市計画課長 建設場所は、既存の学童保育所がある場所を考えています。小学校に隣接した場所なので、小学校を防災拠点として、それと関連付けて役割が果たせればと思います。



建設予定地

質問 施設の名称をわかりやすい名称に決めてもらいたい。

都市計画課長 早い段階で検討委員会を開き、名称を決めたいと思います。

企業立地促進事業

質問 企業誘致奨励金が増額となっているが、どのような補填か。

経済建設課長 明和第三工業団地の進出企業に対する補助金で、固定資産税相当額の増額です。

農業振興費

質問 経営体育成支援事業補助金の減額と「はばたけ！ぐんまの担い手」支援事業費補助金の増額説明を。

経済建設課長 経営体育成支援事業では、農事組合法人のコンバイン購入が約25万円、認定農業者の施設ハウス整備の取り下げが約593万円と梨園整備が約4万円、合計約622万円の減額です。「はばたけ！ぐんまの担い手」支援事業では、

コンバイン購入で約377万円、施設ハウス被覆材の張り替えが約58万円、合計約435万円の増額です。

質問 施設ハウス整備の取り下げ理由は。

経済建設課長 詳細は承知していませんが、申請者（個人）の都合により取り下げられました。



コンバイン購入



施設ハウス張り替え

指定寄附金

質問 企業と個人のどちらからの寄附金か。

企画財政課長 会社を営む個人からの寄附です。

質問 今回の教育指定の寄附金全額を東小学校の図書購入に充てているが、現状のバランスと今後指定寄附が行われた場合の対応は。

学校教育課長 2年前にいただいた寄附は、西小学校の図書を購入しました。

質問 寄附金は、教育の公平性を考えて、学校に半々にして配分した方が良いのでは。

教育長 今後寄附があった際は、町内小中学校の校長と相談して一番良い方法で配分を決めます。

繰上償還

質問 7億3000万円強の償還を検討した経緯は。

企画財政課長 過去に借りたものは、現在の利率と比

べ高い利率のものもありま
す。特に利率の高いものを
返していくというところで検
討し、減債基金より充てま
した。

質問 今年度の起債はどの
程度の利率を想定している
か。

企画財政課長 今のところ、
0・4%前後になると推測
しています。

質問 臨時財政対策債の償
還については、補償金の支
払いが発生するので繰上償
還は行わないとしてきたが、
繰上償還に変えた理由は。

企画財政課長 財政融資資
金には補償金がありますが、
利率の高いものについて計
算をした結果、将来的に5
500万円程度の削減が見
込めるので、今回繰上償還
に踏み切りました。

特別会計

介護保険

家族介護支援事業

住宅改修費

質問 補正前の実績は。

健康づくり課長 6件で約
77万円です。

質問 32万円の追加補正は
何件分か。

健康づくり課長 1人8万
円と想定し、4件分を計上
しました。

質問 家族介護慰労金事業
の対象から外れた人のケア
は。

健康づくり課長 補助要綱
が変わる予定で、年額10万
円の慰労金該当者はこれま
でどおりですが、年額8万
円の該当者は補助対象から
外れます。対象から外れる
人には、町単独で予算を取
り、これまでどおり支払い
をする予定になっています。



東小学校 図書室



改修前
つたい歩きでは不安

改修後
手すりがあるのでとても安心

条例

明和町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定

質問 町の責務に「地域の特性に応じた施策を実施」とあるが、町として対応するものがあるか。

情報を得ながら、事務を円滑に進めていきたいと思えます。

総務課長 個人番号法に定めていないものに関して、各自治体で定めて実施できます。今回は福祉医療関係が組み込まれていますが、事務効率が増すようなものがあれば、今後条例改正をして規定していきたいと思えます。

質問 個人番号カードを取得する人数の予想は。

住民福祉課長 現在通知カードが送られたところですので、申請状況については、国から情報が流れてきていないので、把握できていません。

個人番号カード



【おもて面】



【うら面】

第4回定例会 12/7~11

提出議案と審議結果

種別	件名	審議結果	
その他	明和町議会会議規則の一部改正	全員賛成	原案可決
条例	明和町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	賛成多数	//
条例	明和町水道事業の設置等に関する条例の廃止	全員賛成	//
条例	明和町水道事業の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	//	//
条例	明和町川俣駅自由通路設置及び管理条例の制定	//	//
条例	明和町事務分掌条例の一部改正	//	//
条例	明和町税条例の一部改正	賛成多数	//
条例	明和町国民健康保険税条例の一部改正	//	//
条例	明和町介護保険条例の一部改正	//	//
条例	明和町小口資金融資促進条例の一部改正	全員賛成	//
その他	明和町土地開発公社定款の変更	//	//
その他	町道路線の認定	//	//
その他	群馬東部水道企業団の規約変更に関する協議	//	//
予算	平成27年度明和町一般会計補正予算（第6号）	賛成多数	//
予算	平成27年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全員賛成	//
予算	平成27年度明和町介護保険特別会計補正予算（第3号）	//	//
予算	平成27年度明和町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	//	//
条例	明和町議会委員会条例の一部改正	//	//

やさしい町づくりのために

町政を問う



12月定例会では9人の議員から21項目について一般質問が行われました。

議会だよりでは、質問と答弁を要約して掲載しています。

- 齋藤 一夫 議員 …………… 9ページ
 - ・ 農業政策について
 - ・ 教育行政について
- 早川 元久 議員 …………… 10ページ
 - ・ ごみ問題について
 - ・ 安全対策について
- 川島 吉男 議員 …………… 11ページ
 - ・ 安全・安心な暮らしについて
 - ・ 農地対策について
- 岡安 敏雄 議員 …………… 12ページ
 - ・ 下水道の接続対策について
 - ・ 広域農道(町道60号線)について
 - ・ 道路埋設物の各種縁部分のアスファルト破損による耐久性と振動対策について
 - ・ LGBTへの町の対応について
- 栗原 孝夫 議員 …………… 13ページ
 - ・ 将来の町の総合交通について
 - ・ 町の観光化について
- 奥澤 貞雄 議員 …………… 14ページ
 - ・ 退職者の居場所づくりについて
 - ・ (仮称)地域ネットワークセンターについて
 - ・ 地方創生を活用した事業について
- 堀口 正敏 議員 …………… 15ページ
 - ・ 防災対策について
 - ・ 道路行政について
- 関根 慎市 議員 …………… 16ページ
 - ・ 小中学生に対する就学援助制度について
- 坂上 祐次 議員 …………… 17ページ
 - ・ ふるさと活性化のイベントについて
 - ・ 2025年問題について
 - ・ 選挙について

Q 農業後継者は今後大丈夫か

A 農作物ごとに対応

経済建設課長

質問 近年耕作放棄地が全国的な問題となっており、本町でも増えているように思える。耕作放棄地に対する町の新たな取り組みは。

経済建設課長 町の耕作放棄地面積は、平成22年度に約14ヘクタールありましたが、除草等の指導や担い手への貸付等の推進により、現在は約6ヘクタールにまで減少しています。しかし、担い手不足や高齢化等によ

り、今後急速に増大するところが懸念されますので、農地中間管理機構の事業を活用し、優良農地の確保・有効利用を図っていききたいと考えています。

質問 町の農地の全てが優良農地とは言えないと思う。耕作に不便な農地もあると思うが、町としての対応は。

経済建設課長 各行政区において貸し付け等話し合

ってもらっています。畦畔を外して大区画圃場とすることで耕作条件を改善し、大型機械による耕作をしてもらう形で推進しています。

質問 農業後継者不足が今後さらに深刻化していくと思われる。町としての対策は。

経済建設課長 後継者不足対策を農作物ごとに説明しますと、梨は、新規就農者

の受け入れ、指導、ジョイント工法実証圃の運営や離農者の梨園を担い手へと引き継ぐ取り組みを行っています。キュウリなどの施設野菜やシクラメン、カーネーションなどの施設園芸は、比較的農業後継者が多い分野と認識していますが、空き施設が出た際は、J A 邑楽館林と連携し、担い手へと引き継ぐ事業を実施しています。米麦は、後継者不足が一番顕著です。就農者の高齢化が進み、会社勤めの方が休日を利用して営農している状況です。町では、

地区、農業委員会、J A 等関係機関と連携し、農地を担い手や農業経営体に集約・集積化していきたいと考えています。これにより、作業時間や作業コスト等の削減を図り、耕作しやすい環境整備を実施していく必要があると考えています。



その他の質問事項

- Q 青色パトロールカーのドライブレコーダー導入は
- A 総務課、青少年育成推進員連絡協議会と検討する／学校教育課長
- Q 笑育の導入は
- A 笑育の目的である子どもたちの表現力、コミュニケーション力などの育成に努めていく／学校教育課長



さいとう かずお 議員
齋藤 一夫

SAITO KAZUO



はやかわ もとひさ
早川 元久 議員

HAYAKAWA MOTOHISA

Q ごみ処理共同事業開始後の
町民のごみ出し方法は

A 特段の変更はない／環境水道課長

質問 1市2町でのごみ処理共同事業が開始された場合、町のごみの出し方は。
環境水道課長 町ではこれまで同様の方法で収集業務を行い、ごみの出し方に特段の変更はありません。

質問 もつたない館は東部地区と中部地区にはある。西部地区への設置計画はあるか。
環境水道課長 ハード事業をどのように進めるか町全体の計画の中で、総合的に検討していきたいと考えています。

質問 ごみステーションのクラス対策として、辛味成分を編み込んだネットやネットの端にロープ状の重りを入れたものもある。町でも試験的に導入を試みては。
環境水道課長 収集時の作業効率やごみ搬出時の手間、安全性等を勘案して検討させていただきます。

質問 使用済み切手を分別回収すれば収益に結びつくと思う。町で使用済み切手の回収ができないか。
環境水道課長 資源ごみ39分別目として回収はできると考えますが、形状から屋外での回収は難しいと思います。ごみ収集体制の中で分別か他の方法での回収がよいのか、検討したいと思います。

質問 マイバッグ普及促進について、町でも何らかの方法を考えているか。
環境水道課長 現在館林、板倉、明和のマイバッグキャンペーン実行委員会が中心となり、マイバッグの推進をしています。現在の方針で委員会の推進活動を支援したいと考えています。

Q 消火器無償貸与の代替案は

A 講話と実技指導で
防火意識を高める／総務課長

質問 前町長は、消火器の無償貸与をやめたときに、それに代わるものを検討すると言っていた。町は代わるものを検討しているか。
総務課長 自助、共助、公助の考えから、消火器は住民自身で用意していただきたいと考えます。消防職員等による火災予防対策についての講話や実技指導等を行い、町民の防火意識を高めていきます。

質問 川俣駅南側踏切の安全対策は。
都市計画課長 踏切に進入する大型車は、踏切西側で大きくカーブして通行して

いる状況であり、この辺の通行が危険な状態になっています。県道の、県の土木事務所に相談していきたいと思えます。さらに、市街化区域の外に大型車を誘導していく道路整備も必要と考えています。

質問 国道122号バイパス開通に伴う感応式信号機の設置計画は。
総務課長 現在では感応式信号機の設置予定はありません。バイパス開通後に利用環境等を確認し、設置の必要性があったら関係機関に設置要望をしていきたいと考えています。

Q 災害時の要援護者等の避難方法

A 車両等による輸送を考えている

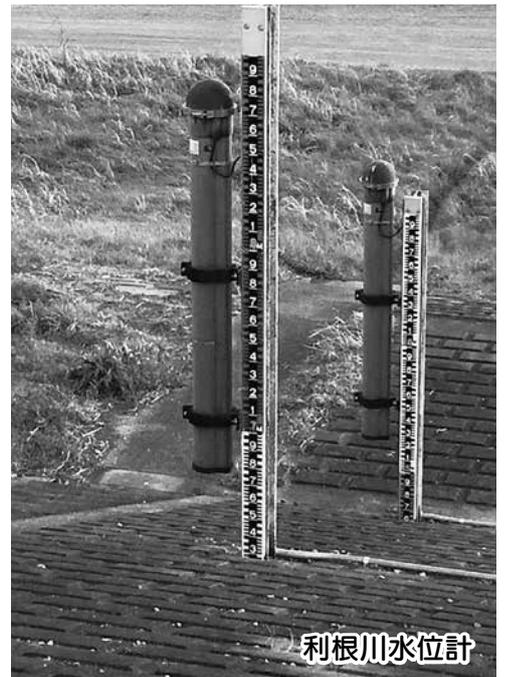
総務課長

質問 平成27年9月、関東

・東北豪雨による水害が発生した。明和町は利根川と谷田川に挟まれており、似たような水害が発生する可能性は高いと思う。直接豪雨や川の上流付近での豪雨の場合、水害を最小限にするために、町はどのようなタイミングで水害等避難勧告・指示発令を出すのか。また、気象予報士の意見を参考にするのか。

総務課長 町では、水害における避難勧告等の判断・伝達マニュアルがあります。

これに基づき、河川が判断水準に到達し、さらに水位の上昇が見られる時は、利根川上流河川事務所、前橋気象台に情報、意見を求め、総合的に判断して発令を行っていきます。



利根川水位計

質問 高齢者や要援護者などの避難方法をどのように考えているか。今後、避難

指示による高齢者や要援護者などの避難シミュレーションを行う計画はあるか。

総務課長 災害時に一人で

避難ができない人については、家族や地域の協力のもと、要援護者ごとの緊急連絡体制を確立していきたくと考えています。その中で、高齢者または車椅子の人、病人は、適切な場所に集合してもらい、車両等による輸送も考えていかなければならないと思っています。

避難シミュレーション計画

については、各関係機関や団体との連携、協力体制をつくった上で計画していきたくと考えています。

質問 地域が高齢者や要援護者の支えになることが重

要である。町では、見守り組織隊を設置する考えはあるか。

健康づくり課長 将来的に

は全地区に見守り組織の構築を目指しており、現在6地区で話し合いが進んでいます。見守りの方法については、地域ごとまたは必要

に応じて対象者ごとに決めていければと考えており、各地域に合った方法を皆さんと一緒に推進していきたくと考えています。

質問 認知症の人などの見守り方法をどのように考えているか。

健康づくり課長 徘徊する人に対しては、家族の見守りにも限界があるので、地域の人の見守りが重要となります。認知症の人については、家族と話をして承諾を得て、見守りを実施していきたくと考えています。

その他の質問事項

- Q 農地中間管理機構との今後の進め方は
- A 担い手への農地集積を図り、力強い農業の実現に取り組む／経済建設課長



かわしま よしお 川島 吉男 議員

KAWASHIMA YOSHIO



おかやす とし お 岡安 敏雄 議員

OKAYASU TOSHIO

Q 広域農道の県道格上げ協議は

A 引き続き要望していく／経済建設課長

質問 広域農道は町道としての路盤構成のため、大型車の流入増により破損が激しく補修費も嵩んでい。県道への格上げや県道「麦倉―川俣線」との付け替え協議はなされているか。

経済建設課長 全国道路交通センサスでは、県道「麦倉―川俣停車場線」の大型車の混入率12・6%に対し、広域農道は25・7%となっています。この結果を踏まえ、県道昇格を県へ要望していますが、県は管理費用増などから難色を示しています。

副町長 今後工業団地等も拡充していく中で現状を加

味し、千代田町と館林土木事務所と協議をして進めていきたいと考えています。

質問 各道路の埋設物の縁が破損し、振動や通過音を発生させている。安全対策や埋設管などの保全のためにも、点検管理を強めるべきでは。

環境水道課長 騒音や振動等の確認がされた場合には、速やかに対応しています。

Q 下水道接続トイレ改造に別途助成を

A 更なる補助は検討しない／環境水道課長

質問 下水道接続率が70%程度と聞いている。接続率を上げるためにも、リフォーム補助金とは別に、トイレ改造等にも助成制度を設けては。

環境水道課長 下水道接続を推進するための補助制度として、公共下水道早期接

続特別奨励金、浄化槽廃止補助金、水洗便所改造資金融資あつせん制度、生活扶助世帯に対する水洗便所改造補助金があります。手厚い補助体制が整えられていると考えますので、下水道事業への更なる補助は検討しません。

Q* LGBTへの対応は検討されているのか

A 人権課題の一つとして 啓発活動をする／住民福祉課長

質問 LGBTへの戸籍や社会保険、扶養扱い等憲法を超えて対応すべき問題が社会的課題となつている。町の対応は。

住民福祉課長 法律に関する課題は国レベルの課題と考えますので、町として特

に検討はしていません。町が対応すべき課題とは、LGBTの人達の人権問題と捉え、その解決に取り組むことと考えます。性別や性自認、性的指向を理由とした就労や住宅入居等の差別をなくし、生き方の多様性

を認め合えるような平等な地域社会の実現に向け、周知啓発活動をしていきます。

※LGBTとは、性的少数者を限定的に指す言葉。レスビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの総称。

Q 交通弱者対策は

A 各種バスと鉄道相互が利用しやすい環境整備をしていく／総務課長

質問 国道122号バイパスと工業団地線の完成後、

交通が便利になるため通過する車両が増え、今まで以上の迂回車両が生活道路に入ってくるという予想もできる。西地区は工業団地線により分散されると思うが、

東地区からバイパスへ向かう迂回車両増の想定と対策は。

経済建設課長 バイパスへのアクセス道路は幾つかある

るので、どの道路の交通量が増えるか把握できません。

供用開始後、現状把握を行い、危険な箇所があれば関係機関と相談し適切な対策を講じます。

質問 平成28年4月から広域公共路線バスは日曜、祝祭日運休になる予定とのことだが、交通弱者への今後の対応策は。

総務課長 現在、広域公共

路線バスの運行ルートや時刻表について見直し作業を進めています。公共施設送迎バス、広域公共路線バス、鉄道など相互に利用しやすい環境を整備していきたいと考えています。

質問 最近、ライトレール

トランジット（LRT）という次世代路面電車が注目されている。邑楽郡は鉄軌道空白地帯となっているため、川俣駅を中心にして東西に走らせると、邑楽郡に理想的な公共交通手段が完成する。近未来的考えだが、将来を見据えて道路設計と並行して計画する考えは。

総務課長 ライトレールト

ランジットは、道路交通を補完し、人と環境に優しい公共交通と聞いていますが、多額の経費がかかります。また、本町だけでできる事業ではないと考えますので、近隣で関心を示す市町村があれば話をしていきたいと思えます。

Q 観光にお花畑を

A 農業施策として再検討する／経済建設課長

質問 優良な農地は集約化が進むと思うが、不便な農地は残されそうだが、以前、

谷田川沿いの遊休農地にヒマワリが栽培されていて、マワリが栽培されていて、見に行ったら子供が大喜びだった。町の観光にお花畑を考えて、景観作物補助金の再考を。

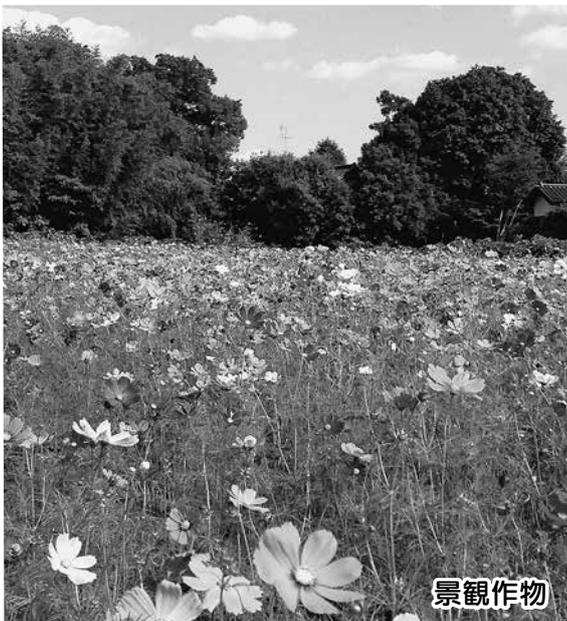
経済建設課長 以前は減反

政策の一環で、コスモスやヒマワリなどの景観作物を付けした人に補助金を支払いましたが、現在は廃止しています。景観作物補助金について再検討はしますが、あくまでも農業施策としてであり、観光事業との結びつきは今のところ考えていません。



くりばら たかお 議員
栗原 孝夫

KURIBARA TAKAO



景観作物



おくざわ さだお 議員
奥澤 貞雄

OKUZAWA SADAO

Q (仮称) 地域ネットワークセンターの具体的計画は

**A 東西2カ所に設置を考えている
／都市計画課長**

質問 9月議会で東部地区に防災を中心とした複合施設の設置を要望し、町長から「東西に複合施設（仮称）地域ネットワークセンターを考えている」と答弁された。具体的に計画が進められているか。

都市計画課長 東西の学童保育の改善とあわせ、多世代の交流、子育て支援、高齢者の健康活動支援、自主活動支援等の機能を持たせた施設として、東西2カ所に施設整備を行いたいと考えています。また、防災に關しては、防災拠点となる小学校施設と連携することにより、その役割を位置づ

けていきたいと考えています。現在、建設推進委員会を立ち上げ、計画実現に向け活動を開始しています。

質問 実現に向け事業が進められているとのことだが、どれくらいの期間、規模、予算か。

都市計画課長 検討委員会を立ち上げ、平成27年度中に事業の基本計画を策定し、平成28年度に設計、建設の予算を確保して、東地区から建設に着手していきたいと考えています。さらに、平成29年度に西地区の建設に着手して整備を完了する計画です。予算は、基本計画策定作業の中で施設の規模や内容を検討して、概算費用を算出する予定です。

質問 検討委員会の委員構成は。

都市計画課長 施設を利用すると思われる団体や議会、区長会等の代表を委員として考えています。

Q 退職者の居場所づくり

**A 多様な学習機会を提供する
／生涯学習課長**

質問 退職者がその後の人生を生きがいを持って健康でいきいきと生活していけることは、地域の活力に繋がるだけでなく、医療費の削減にも繋がっていくと思う。町では、退職者の居場所づくり対策はとられているか。

生涯学習課長 退職者の中には地域との繋がりが少ない傾向にあるため、地域に出る行く手掛かりを見つけれない人も少なくないようです。培ってきた豊かな経験や知識を使って地域に貢献し、生きがいを持って心豊かに過ごしていけるよう、多様な学習機会の提供、各種スポーツ団体の支援を行っていると思います。平成27年度は、50歳以上の方を対象としたシニア夜間教室など、男性が参加しやすい教室も開催しました。

質問 日本の子供の6人に1人が貧困だと言われており、経済の格差によって塾に行けない子どもも出てきている。子どもの未来が経済格差に影響されてはいけない。学習指導できる退職者が活躍でき、子どもの勉強の手助けになる環境づくりができないか。

教育長 ボランティアや退職した先生達を集められ、子どもの学習の遅れを取り戻す活動が学校の施設等を上手く使ってできるのであれば、ぜひ活動していきたいと考えます。

その他の質問事項

Q 地方創生予算を活用した事業計画は

A プレミアム商品券の発行、妊産婦への総合支援、防犯カメラの設置、明和町PRポスターの作成・掲示等を実施／企画財政課長

Q 河川増水時の避難発令基準の変更と災害時の対応は

A 早期修正し、防災計画も改正

総務課長

質問 国は平成26年に市町村に空振りを恐れず早期の判断を促すため、河川の増水時に市町村長は半自動的に発令する目安として避難勧告の基準水位をより緊急度が高い判断危険水位にするなどの変更をした。これを受け、県内でも河川ごとに定める基準水位が平成27年9月に変更された。本町も修正の対象だが、地域防

災計画の修正に合わせるとしている。現行基準では、避難できずに利根川が氾濫あるいは決壊する恐れがある。河川の増水に伴う避難発令基準の早期修正を。
総務課長 国の避難発令基準等の判断が改正になり、これを参考に利根川上流河川事務所などの意見を取り入れ、早期修正をし、防災計画も改正します。国が示

した判断水位になると予測された時点で避難指示を出す方向で考えています。

質問 適切な避難発令と周知はできるか。

総務課長 関係機関と連絡をとり、適切な時期に発令します。また、平成28年度には屋外放送を整備する予定で、複数の情報伝達手段により、周知の万全を期します。

質問 3・11の震災では役場庁舎の非常用自家発電装置が機能しなかったが、今後大丈夫か。

企画財政課長 停電による行政機能を失わないように、電気事業法、消防法等関係法令に基づく設備の点検と年1回の停電検査を実施し、確認しています。

Q 進まぬ生活道路の整備

A 予算の一定額を確保し進める

経済建設課長

質問 平成26年度末の生活道路整備申請件数は72路線、延長は1万3416メートルとなり、その費用は約10億円必要とのこと。予算額は進まず、件数は平成19年度末より21路線増えている。平成20年度以降の整備状況は、一定額の予算の確保と早期着手を。

質問 私道の寄附行為による町道認定の公平性、透明性を確保するため、寄附受け入れ基準の制定を。
町長 制定します。

改良が望まれる生活道路（新里地内）



ほりぐち まさとし 議員
堀口 正敏

HORIGUCHI MASATOSHI



せきね しんいち
関根 慎市 議員

SEKINE SHINICHI

Q 小中学生に対する就学援助制度
生活保護基準額引き下げの影響は

A 基準額を超えても総合的に判断
／学校教育課長

中学校15名、全児童生徒数に対する割合は3・92%です。平成27年度では、小学校17名、中学校9名、割合は2・94%と減少傾向です。景気の回復が影響していると推察されます。

質問 安倍政権は平成25年から3年かけて生活保護費

の中の生活扶助費670億円の削減を行ってきた。これに伴い、就学援助の認定基準額も連動して下がったことから、就学援助から締め出されるケースも各地で起こったと聞かすが、本町ではこのような事例はなかったか。

学校教育課長 本町の就学

援助費要綱には「世帯全員の収入額の合計が生活保護基準額の1・2倍以下の者」と規定されていますが、この規定にかかわらず、基準額の1・2倍を超えた者でも、学校からの意見や申請者からの再度の聞き取り、生活状況がわかる書類等の再提出などにより、教育委

員会で総合的に判断し認定しています。平成25年度から就学援助費の認定の目安となる生活保護基準額が改定されましたが、本町では改定の影響は出ていません。

質問 就学援助を認定する際の基準額はいくらか。

学校教育課長 準要保護の認定基準額については、生活保護基準額より算定していますが、年齢や世帯人数、住んでいる地域などにより異なります。例として、借家で父、母45歳、子13歳と10歳の4人家族で算出すると、所得基準額の目安は283万円程度になります。

質問 太田市では、準要保

護者の就学援助要件を生活保護基準額の1・2倍から1・6倍に拡大している。本町も拡大できないか。

学校教育課長 現在、1・

2倍を超えても認定を受けている人もいます。見直しについては、今後の申請状況を踏まえ、他市町の動向

を注視し検討したいと思えます。

質問 本町では、給食費や

修学旅行費など6費目に対し援助を実施しているが、国の定める援助費目は12費目である。PTA会費やクラブ活動費、生徒会費など援助費目の拡大の検討は。また、給食費など毎月支払いが発生する費目もあるため、支給回数を年2回ではなく増やしてはどうか。

学校教育課長 費目の拡大

については、他市町の動向を注視し、教育委員会で検討したいと思えます。また、支給回数については、申請者の声を聞きながら、費目の拡大同様、教育委員会で検討したいと思えます。

学校教育課長 平成26年度の援助者数は、小学校20名、

中学校15名、全児童生徒数に対する割合は3・92%です。平成27年度では、小学校17名、中学校9名、割合は2・94%と減少傾向です。景気の回復が影響していると推察されます。

質問 安倍政権は平成25年から3年かけて生活保護費

の中の生活扶助費670億円の削減を行ってきた。これに伴い、就学援助の認定基準額も連動して下がったことから、就学援助から締め出されるケースも各地で起こったと聞かすが、本町ではこのような事例はなかったか。

学校教育課長 本町の就学

援助費要綱には「世帯全員の収入額の合計が生活保護基準額の1・2倍以下の者」と規定されていますが、この規定にかかわらず、基準額の1・2倍を超えた者でも、学校からの意見や申請者からの再度の聞き取り、生活状況がわかる書類等の再提出などにより、教育委

質問 就学援助を認定する際の基準額はいくらか。

学校教育課長 準要保護の認定基準額については、生活保護基準額より算定していますが、年齢や世帯人数、住んでいる地域などにより異なります。例として、借家で父、母45歳、子13歳と10歳の4人家族で算出すると、所得基準額の目安は283万円程度になります。

質問 太田市では、準要保

護者の就学援助要件を生活保護基準額の1・2倍から1・6倍に拡大している。本町も拡大できないか。

学校教育課長 現在、1・

2倍を超えても認定を受けている人もいます。見直しについては、今後の申請状況を踏まえ、他市町の動向

Q 若者に政治に興味を持ってもらうには

A 将来の有権者である子ども達に意識の醸成を図る／総務課長

質問 町の選挙投票率の推移は。

総務課長 すべての選挙において投票率の下落傾向が続いています。

質問 投票率を上げるには、若者に政治に興味を持ってもらうことが必要と考える。小中学校、高校で選挙体験を行っている。

総務課長 若者の投票率が低い理由は、政治的、社会的に対立する問題を取り上げ、関心を持たせたり判断力を養成するような教育がほとんど行われないことが挙げられます。町では、選挙や政治への理解を深めてもらうため、県選挙管理委員会による選挙出前授業、模擬投票等を実施しています。

質問 移動困難な高齢者等の投票を支援する方法は。

総務課長 病院や介護施設等での不在者投票と、在宅での郵便投票があります。ただし、郵便投票には一定の条件が必要となります。また、移動手段がない人は、路線バスや公共バス等を利用し期日前投票をしていたきたいと思います。

Q ふるさと活性化イベント

A 継続して開催したい
／生涯学習課長

質問 11月7日に行われたふるさと活性化イベントの評価は。

生涯学習課長 町のふるさと大使である野村誠一氏と友人の片山さつき氏による対談形式の講演会を開催しました。対談の内容、会場の雰囲気、来場者の反応が良かったことなど、ますます

ずの成果があったと考えています。

質問 今後どのように展開していくのか。

生涯学習課長 今後も野村氏の人脈を生かしたイベントを開催し、町の活性化を図りたいと考えています。

Q 地域包括ケアシステムの進捗状況は

A 各分野の取り組みを推進
／健康づくり課長

質問 団塊の世代が75歳以上となる2025年の町の人口予測と高齢化率は。

健康づくり課長 国立社会保障・人口問題研究所が出した本町の推計人口は1万353人、75歳以上人口予

測は1816人です。また、65歳以上の人口は3317人で、高齢化率は32%と推計しています。

質問 医療、介護、予防、住まい、生活支援などを切

れ目なく提供できる体制が必要と考える。町の地域包括ケアシステムの進捗状況は。

健康づくり課長 地域支援サービスの充実、認知症初期集中支援チームの構築、医療と介護の連携、見守り体制の構築等が重要課題と捉え、各分野の取り組みを推進しています。



さかうえ ゆうじ 議員
坂上 祐次

SAKAUE YUJI

議員全体研修

駅を基点とした

町の活性化事業を学ぶ

議員全体研修として平成27年11月18日から20日の日程で、石川県穴水町、富山県氷見市を訪問しました。研修内容は、穴水町駅前整備事業と氷見市放課後児童対策事業です。初日の研修先である穴水町は、能登半島の中央部に位置し、人口9000人（ピーク時1万6000人）、面積183km²を有し、能登空港から10分と空の便にも恵まれながらも人口は減り続け、高齢化率は43%を示しています。穴水町議会伊藤議長の挨拶の中にも「駅周辺に賑わいの場を創出した」とする事業の意義が



語られました。駅前整備の契機となったのは、北陸新幹線の開業であり、穴水町でもこ



れにあわせて物産館「四季彩々」の建設や駅との連絡通路、バスも留まれる駅前駐車場の整備、防災施設を備えた「さわやか交流館プラウト」が建設されました。能登鉄道の終点である穴水駅が奥能登観行の玄関口となっており、奥能登方面への観光客は年間434万人を数える中、穴水町への観光客は年間15万人にとどまっているため、観光客の滞留を見据えた駅舎併設型としては全国で13番目となる道の駅「あなみず」の誕生に期待しているとの説明でした。今後、道の駅はカーナビや

道路地図に登録され、穴水町の知名度アップが期待されます。本町でも川俣駅周辺整備事業を手がけており、参考となる研修になりました。

翌日は、富山県氷見市を訪問しました。氷見市は富山県の西北、能登半島の東付け根に位置し、人口5万人、面積230km²、農業・漁業のまちとして知られています。

氷見市が取り組んでいる放課後児童対策事業は、地域に運営協議会を設置して委託する方法で、市内12カ所ある小学校のほとんどに設置されており、地域のボランティア等が運営を行っているため、児童クラブ（学童保育所）の費用は月2000円程度と安価で、おやつ代として徴収しているとの説明でした。

また、今回訪問した海峰校区児童育成クラブで

は、高齢の人が指導員をしていました。児童クラブと放課後子ども教室の子どもたちは、初めに同じ部屋で宿題をしてから、各種の教室に参加する子どもと児童クラブに参加する子どもにそれぞれ分かれませんが、最後は保護者とともに帰宅するのが条件となっているとの説明でした。

本町の運営と異なる点は、同一の施設で行っていること、最初は一同に集まり宿題をしてからそれぞれのところへ分かれること、児童クラブの経費が低額であることなどが挙げられます。本町でも取り入れられるところがあれば、参考にしていきたいと思えます。

町村議会議員研修会

地方消滅の罨と

日本国憲法の理念

町村議会議員研修会が10月30日に吉岡町文化センターで開催されました。この研修は毎年1回、県内町村議会議員が参加し開かれている勉強会です。今回は、首都大学東京准教授の山下祐介氏によ

る「地方消滅の罨」『増田レポート』と人口減少社会の正体』と題した講演でした。2040年までに全国の市町村の半数が消滅する可能性がある、地方における「選択と集中」によって東京

一極集中を防ぎ人口を増加に転じさせようという政策論調の増田レポートの批判も含め、人口減少問題を解決するには、過度の集中を止め、中心から周辺への回帰を図るべきとの内容でした。

続いて、伊藤塾塾長で弁護士伊藤真氏による「日本国憲法の理念」と題した講演で、憲法を分かりやすく解説していただきました。日本国憲法は個人主義・個人尊重が

根底にあり、最高法規として国家権力を制限し人権保障を図るという立憲主義の理念を基盤にしているとのこと。また、問題となっている安民法について触れ、安民法案の国民の理解が進まない理由は、メリットとデメリットの説明不足だからとのことでした。これらの講演を今後の議会活動に反映していきたいと思えます。



議会日誌

10月

- 6日 広報委員会
- 8日 町社会福祉大会
- 11日 町民体育祭
- 16日 館林地区消防組合議会全員協議会
- 19日 全員協議会
 - 〃 議会改革特別委員会
 - 〃 広報委員会
- 20日 全国町村議会広報研修会（21日まで）
- 22日 一部事務組合議会定例会
- 23日 邑楽郡町村議会議員親善スポーツ大会
- 24日 町総合福祉スポーツ大会
- 25日 館林地区消防組合消防隊秋季点検
- 26日 災害時情報伝達手段整備検討委員会
- 27日 館林衛生施設組合議会議員視察研修
 - 〃 教育の日記念行事
- 28日 広報委員会
- 29日 邑楽館林医療事務組合議会議員視察研修
- 30日 群馬県町村議会議長会主催議員研修会

11月

- 6日 町戦没者追悼式
 - 〃 道路改良促進協議会
- 11日 第59回町村議会議長全国大会
- 16日 館林地区消防組合議会議員視察研修（17日まで）
- 18日 議員全体研修（20日まで）石川県・富山県
- 24日 全員協議会
- 26日 総務・産業常任委員会所管事務調査
- 27日 文教・厚生常任委員会所管事務調査
- 30日 災害時情報伝達手段整備検討委員会

12月

- 2日 議会運営委員会
- 7日 第4回議会定例会（11日まで）
 - 〃 全員協議会
- 9日 議会改革特別委員会
- 11日 常任委員会所管事務現地調査
- 18日 館林衛生施設組合議会臨時会
- 25日 広報委員会

ぼくの住みたい 明和町



西小6年
せん だ みずき
泉田 瑞揮さん

ぼくは、しょう来スーパーなどの店が増えた明和町に住みたいです。なぜかという、今の明和町は、コンビニぐらいしか、買い物する所がなく、買い物ときは、ほとんど館林などのスーパーやアピタに行くことがとても多くなっています、時間がかかってしまったりするからです。それにお店があれば、明和町じたいが明るくなるような気が

これらのことを考えて、ぼくはしょう来、スーパーなどのお店が増えた明和町に住みたいです。いま、明和町は、スーパーが1店オープンしました。このようにして、スーパーが増えればいいと思います。



私が町長 だったら



西小6年
おん だ れん か
恩田 恋佳さん

私が町長だったら、子どもとお年寄りが自然とふれあえる場所をつくりたいと思います。

なぜなら、最近の子ども達のお父さんやお母さんは働いていて、家の中に一人である時間が多いと思うからです。そして、お年寄りのみなさんは、家にこもっているよりも、子ども達とそのような場にいる方がとても

楽しいと思うからです。一緒に

に読書をしたり、勉強をしたり、昔ながらのかるた遊びもおもしろそうです。学校が終わると、その場所に行くことが楽しみになり、行けば必ず友達や、知っているおじいさん、おばあさんがいます。

町長として子ども達やお年寄りの笑顔あふれる明和町にしていきたいので、このような所を作りたいと思いました。

議会の生の声を 聞いてみませんか？

次回定例会
3月9日(水)から
午前9時~
3月18日(金)まで
(一般質問は3月10日・14日)

予定です

詳しくは議会事務局へ
TEL 84-3111

広報委員会

- | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|------------|
| 委員 栗原 孝夫 | 委員 齋藤 一夫 | 委員 坂上 祐次 | 委員 関根 慎市 | 委員 早川 元久 | 副委員長 奥澤 貞雄 |
|----------|----------|----------|----------|----------|------------|

編集後記

1月に川俣駅舎が供用開始となりました。平成28年度は3市5町による水道事業がスタートし、大輪西工業団地の造成が完了予定、また平成29年度は1市2町のごみ処理共同事業の開始と122号バイパスの完成が予定されています。様々な点で明和町は変わろうとしています。

今夏の参議院選挙から選挙権が18歳以上になります。一番身近な議会である町議会の様子をよりわかりやすく伝え、若い人にも手に取って読んでもらえる「議会だより」を作っていきます。

早川副委員長記